

教育プログラム・コースの概要

大学名等	兵庫医科大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	痛みの治療・ケアに対応できる人材を育成する緩和ケアインテンシブコース						
対象職種・分野	がん医療に携わる医療従事者						
修業年限（期間）	1～2年						
養成すべき人材像	がんと診断された時からエンドオブライフにおけるがん患者の苦痛をコントロールする様々な方法を習得し、痛みの治療と様々な苦痛に対するケアが行える人材を養成する。						
修了要件・履修方法	【Aコース】講義および実習を履修し、受講報告書を提出し指導教員の評価を受ける。 【Bコース】講義を履修し、受講報告書を提出し指導教員の評価を受ける。						
履修科目等	講義：腫瘍学Ⅰ基盤講義（医療現場・学際領域）～腫瘍学Ⅱ横断講義（予防・研究開発） 実習：210時間						
がんに関する専門資格との連携	緩和医療専門医、認定看護師、緩和薬物療法専門薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師が、講義および実習を行う。						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	実習では多職種が参加する緩和ケアチーム活動に参加することで、職種ごとに異なる視点や考え方を集約する過程を学ぶことができる。このため対象者を医師のみに限らず、看護師や薬剤師も含めて幅広い参加を求める。						
指導体制	緩和ケア専従医、ペインクリニック専門医、緩和ケア認定看護師、がん化学療法認定看護師が指導する。						
修了者の進路・キャリアパス	緩和医療専門医、認定看護師、緩和薬物療法専門薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師などを目指す。また科学的視点をもつ緩和医療の研究者の育成も目指す。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数 ※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
		2	2	2	2	2	10
受入目標人数（養成目標人数）設定の考え方・根拠	阪神地区における緩和ケアを積極的に行っている5施設において、今後、がん患者における痛みと治療とケアに積極的に関わる人材を育成するため、1年度で2名、計10名とした。						